

# 行政や学校で、そして地域で、

## 多文化共生に向けたさまざまな

### 取り組みが行われています

#### 行政の取り組み

##### ●外国人生活情報窓口の設置

市役所1階市民課に「外国人生活情報窓口」を設置し、ポルトガル語が分かる職員が、窓口での行政手続きの支援や情報提供を行っています。



〈外国人生活情報窓口〉  
 日 月～金曜日（年末年始、祝日は除く）  
 時 午前9時～正午  
 午後1時～5時  
 所 市役所1階市民課  
 内容 窓口でのポルトガル語の通訳、市の業務に必要な文書の翻訳など

##### ●外国人生活オリエンテーション

外国人登録のため最初に市役所を訪れた際、市内に住むうえでの決まり事や守ってもらいたいことなどを伝えるオリエンテーションを行っています。

自治会への加入やごみの出し方、子どもの教育の重要性などを、資料を配付しながら説明しています。

##### ●広報ふくろい

##### ポルトガル語版の発行

今年4月からは、広報ふくろいから必要な情報を抜粋し、ポルトガル語に翻訳した「広報ふくろいポルトガル語版」を月1回発行しています。

広報ふくろいポルトガル語版は、市役所や支所、協働まちづくりセンター「からっと」や市内のブラジル人学校などで配布しています。



#### 学校の取り組み

◇外国人の長期滞在や定住が進むにつれ、市内で生まれ育ち、学校に通う外国人児童数も増加しています。

◇5月1日現在、市内の小・中学

校には157人の外国人児童が在籍し、日本人児童と机を並べて学習しています。

##### ●外国人児童生徒相談員のサポート

高南小学校をセンター校として、外国人児童生徒相談員を常駐配置。入学の手続き案内や学習相談などを行っています。

#### 地域での取り組み

##### ●外国人リーダーや班長への起用

##### （青木町第一自治会）

自治会員の約3割を外国人が占める青木町第一自治会では、住民の中から外国人リーダーを選んで、日本人との橋渡し役をお願いしています。

また、外国人住民にも積極的に自治会班長をお願いして、自治会運営への参画を促しています。

##### ●公民館で外国人との交流会を開催

##### （浅羽南地区）

浅羽南地区では、公民館と自治会が中心となり、外国人との交流を深める催しを開催しています。

今年1月に行われた浅羽南地区国際交流会では、地域の外国人約20人が参加。もちつきや茶会など日本の伝統的な行事を体験しながら、お互いの親睦をより深いものとなりました。

#### 伝えれば伝わる

#### 必要なのは会話と理解



堀越中自治会会長 永野和利さん  
 県営住宅の居住者で組織される私たち堀越中自治会

は、全158世帯のうち、半数近くが外国人世帯です。

そんな環境の中、私が自治会長として心掛けていることは、相手が誰であろうと、伝えるべきことは面と向かって直接伝えるということです。

よく、外国人の方によるごみの出し方や騒音問題などがやり玉に挙げられますが、日本でのルールや地域の決め事などは、順を追って説明すれば、しっかりと理解してくれます。

地域に住む日本人と外国人の間で何かトラブルが生じるとするならば、それは両者による会話と理解の不足が原因ではないでしょうか。

知らないことは教え合い、思ったことは伝え合う、そんな基本的なところを大切にしていけることが、多文化共生の第一歩なのかも知れません。

周辺の自治会や自治会連合会の協力もあって、地域での多文化共生は、ゆっくりに進んでいます。

堀越中自治会から外国人の自治会長が選出される日も、そう遠くはないかも知れません。



榛葉グスティアユさん  
インドネシア出身

### 日本は治安が良く みんなが親切

インドネシアで会社員として働いている時、仕事で日本人男性と知り合い、結婚して、去年の2月に日本に来ました。

こちらに来て思ったことは、日本人は親切な人が多いことです。日本語を覚え

ようと足を運んだ袋井国際交流協会でも、日本語以外に、いろいろなことを教えてもらったり、お世話をしていただいたりしました。

インドネシアでは首都のジャカルタに住んでいましたが、静かで平和的な袋井市での暮らしも、とても気に入っています。まちに街灯が少ないかなとも思いますが、それでも治安が良いのは、とても素晴らしいことです。

### もっと気軽に声を掛けて

生活する上で特別困っていることはありませんが、日本の皆さんにお願いをするなら、地域などでも、もっと気軽に声を掛けてもらいたいです。相手が外国人というだけで、少し距離を取ってしまう方が多いような気がしていますが、そんなに構えずに気軽に声を掛けていただきたいと思っています。

また、英語での表示や案内看板がもっとあると助かります。バスに乗った時、特にそう思いました。どこに行くバスなのか、どこで降りたらいいのか、よく分からなくて…。

今は子どもが生まれて、育児に掛かりきりですが、落ち着いたら、また日本語教室に通い、もっと言葉を覚えたいと思っています。

今はまだ、近所付き合いは少ないのですが、これから少しずつ地域の輪に加わっていきたくと思っています。

日本で暮らす外国人の方は、日々の暮らしや日本人に対し、どんなことを思っているのでしょうか。市内在住の外国人2人に、お話を聞いてみました。

### 日本に来て9年目 ずっと住み続けたい

母が仕事で日本に来ていて、母に会いたく自分も8歳の時に来日しました。以来、ブラジルには一度も戻らず、ずっと袋井市に住んでいます。

日本での生活は、はじめは言葉が分からず苦労しましたが、袋井東小学校での学校生活や地域の皆さんとの会話の中で、少しずつ日本語を覚えていくことができました。

私の育った国本地区では、外国人居住者が大変多く、子どもも国籍を気にせず、一緒にサッカーなどをして遊んでいます。今では友達も多くなりますので、これからもずっと日本で暮らしていきたいと思っています。

### 今一番したいことは働くことだけ…

これまでは母が働いて、私を育ててくれましたので、自分も早く働きたいと考えています。

しかしながら、仕事を探すのが難しいのも事実です。現在、派遣会社に登録して仕事を待っていますが、なかなか声が掛からないでいます。日本では教育が重要視されますので、日本の学校を小学校までしか卒業していないことが、その要因の1つかもしれないとも感じています。そのため今は、より多くのことを学ぼうと日本語能力試験などの検定や資格取得に挑戦しています。

自分の現在の暮らしを支えるため、また将来の目標をかなえるためにも、働いてお金を稼ぎたいです。



セトグチ ジョジョーナオトさん  
ブラジル出身

問 地域振興課協働共生推進係  
44-3116

◇申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

◇申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

### 多文化共生ミニフォーラム

日 8月19日(火)  
時 午後1時30分～3時  
所 市役所301会議室

内容 体験談「静岡県の多文化共生に取り組んで」(県国際交流員)

横山マルコスさん、市通訳や外国人児童生徒相談員を交えてのトークセッション

問 秘書広報課広報聴係  
44-3104

民の歴史をパネルで紹介

内容 日本人によるブラジルへの移

日 8月21日(木)～30日(土)

所 市役所2階市民ギャラリー

内容 日本人によるブラジルへの移

日伯交流100周年

日本・ブラジル移民百周年記念

ブラジル移民パネル展

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。

◇市内でもブラジルとの交流を深める催しが行われます。